

6	1
7	2
	3
	4
	5

1.白鷗幼稚園おもちゃライブラリー（栃木県建築家協会賞）2.建て主作成のコミュニティで理想の家を話し合う3.和の要素を現代建築に活かした家 4.海外でのワークショップ活動（トルコ2005）5.まちづくり活動（生田緑地市民参加、座長）6.ルーテル学院大学新校舎（2006年 日本建築家協会優秀建築賞）7.スキップフロアを用いて空間に連続性を持たせた家



連 健夫
Takeo Muraji

多摩美術大学卒業、東京都立大学大学院修了。建設会社10年勤務後、1991年渡米、AAスクール留学、AA大学院優等学位取得の後、同校助手、東ロンドン大学講師、在英日本大使館嘱託。1996年帰国、連健夫建築研究室設立。設計活動の傍ら首都大学東京オープンユニバーシティ等で講師を務める。作品、白鷗幼稚園おもちゃライブラリーで栃木県建築家協会賞、子ども環境学会デザイン奨励賞受賞。著書に「心と対話する建築・家」「イギリス色の街」など

家づくりで大切にしていること
建て主とのコミュニケーションを大切にしています。建築は、大きな空間や取など建て主からの基本的要望で設計可能ですが、癒され元気になる家づくりのためには十分なコミュニケーションが必要です。
このため設計各段階において綿密な打ち合わせを行うなど建て主参加のデザインプロセスに留意しています。設計当初に建て主のイメージや嗜好をデザインに活かすべく、10の連想やカラーリングをつくってもらうなどさまざまな工夫をしています。
遠隔地からの依頼も受け付けていますか？
遠隔地からの設計依頼は何ら問題ありません。設計料に交通費が追加されますが、まちづくり活動や講演会など

どの機会をうまく使い費用を最小限にしています。遠隔地の家づくりは、地域文化や気候特性を生かすなど、当面にこそ魅力を感じます。
いま興味のあることは何ですか？
世相やコミュニケーションに興味があります。時代の読み取りは住まいの将来のあり方を考える上で大切です。多世代の方と話をすることやブログやツイッターなどの情報ツールを使うなど、コミュニケーションを心がけています。
家の中で一番好きな場所は？
家族がつかえる場所です。リビングやダイニングを気持ちの良い場として設計することは、家族の絆をつくることにつながります。家族の様子が見える、感じられるなど、部屋のつながり方や動線を生かすことが大切だと思います。

建築家からのメッセージ



和室を改修し、ご主人の寝室とした



サンルームで風呂上りにのんびり庭を眺められる



壁にガラススタイルを用いた明るい洗面洗濯室



ウッドデッキを設置、サンルームから出入りする



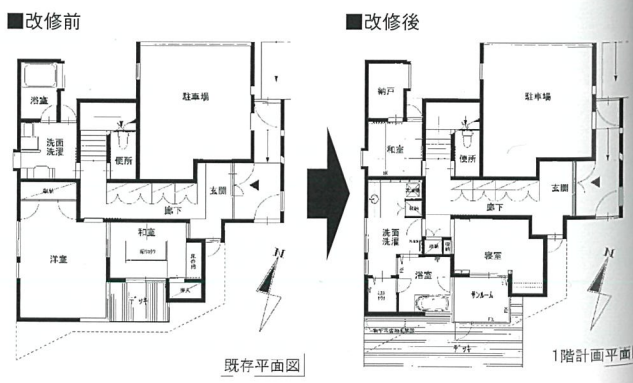
4畳半に床の間を設け上質な空間にした

夫
わが家→1 遠い→2 近くでありたい→3 やすらぎ
→4 和→5 愛→6 家族→7 絆→8 コミュニケーション
→9 空間 →10 永久

妻
わが家→1 くつろぎ→2 だんらん→3 リビング
→4 テレビ→5 スポーツ番組→6 サッカー→7 主人
→8 家族の柱→9 大阪→10 ガンバ大阪

家族だんらんの場としてのわが家に
やすらぎとくつろぎのある空間をつくる

光いっぱいの自然が感じられる空間
→地中海を味わう



DATA
改修面積：72.47㎡（内部：55.22㎡、外部：17.25㎡）
規模：戸建住宅（木造+RC造）3階建の1階部分の改修
工期：設計2ヶ月／工事2ヶ月
完工：2008年6月
設計／有限会社 連健夫建築研究室・一級建築士事務所
〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-11 ドミエモロド3C
電話：03-5549-9887 FAX:03-5549-9889
ホームページ：http://www.muraji.jp/
E-mail：takeo@muraji.jp
施工／有限会社 水品建工
〒333-0865 埼玉県川口市伊刈1003-6
電話：048-263-2525 FAX:048-263-2533
本体施工費：1,350万円

case
44
住宅リノベーション
N邸
埼玉県／さいたま市
設計／連健夫
家族構成／4人
本体施工費／1,350万円



浴室とサンルームを南側に配し大きな窓を設けた

綿密な対話から生まれるキーワードを元に 地中海のイメージで1階を明るくリフォームしたN邸

全体に暗く、使いづらい1階を明るく気持ちのよい空間にしたい
住宅の改修計画にあたり建て主からは、以下のような改善が求められた。1階が全体に暗く、うまく使われていない。気持ちのよい空間にするともに、将来のことを考えてバリアフリーに配慮したリフォームをしてほしい。特に浴室の雰囲気、洗面洗濯室が狭く、使いづらいので改善してほしい。洋室も暗く、物置場となっている状況なので何か良いアイデアがほしい。和室は将来、ご主人の寝室として使えるようにしてほしい。
風呂場とサンルームを庭を一望できる南側へ配置
建て主の無意識の要望や嗜好をデザインに反映すべく、夫妻に10の連想をしてもらった。そこからコンセプトを「光いっぱいの自然が感じられる空間→地中海を味わう」とした。
具体的には、北側にあった浴室を南側の庭が見える位置に移し、サンルームと広い洗面洗濯室を設けた。庭には広い木製デッキを設けた。和室は将来のご主人の寝室として洋室に改修、以前の浴室は納戸にし、洗面洗濯室は4畳半ではあるが床の間のあるグレードの高い和室に改修した。